

神戸市シルバーカレッジ 講義概要(シラバス)

コース 専 攻	国際交流・協力 コース	対象学年	3 年
講義日	令和 6 年 6 月 21 日(金)		
テーマ	ロシアとウクライナ:戦争に至るまでの歴史的背景		
講 師	渋谷 謙次郎		
<p>講義内容</p> <p>ロシアがウクライナに軍事侵攻してから、すでに2年以上が経過し、出口は見えないままである。本講義は、ロシア・ウクライナ戦争の先行きについて予測または予言する(それは不可能といってよい)のではなく、むしろロシアとウクライナとの関係の歴史を紐解いてみたい。現在を知るには、過去を知るしかない。</p> <p>高校時代の世界史の教科書などでは、ロシアやポーランドに関する歴史の記述は出てきても、ウクライナに関する記述は、ほぼなかったといってよい。それはなぜか。理由は、ウクライナが主権国家として独立したのが、1991 年のソ連解体によってであり、それ以前は、ソ連やロシア帝国、ポーランドの歴史の中に埋もれていたからである。</p> <p>そこで、本講義では、ウクライナの歴史的起源を含めて、現代にいたるまでのウクライナの歩みについてロシアやポーランドとの関係の中で辿ってみる。のみならず、現代のウクライナは、実は7つの国と国境を接しており、ロシア以外の近隣諸国の間でもウクライナの支援をめぐる温度差があることの背景についても、触れてみたい。</p> <p>このように、限られた時間内ではあるが、戦争の歴史的背景について、多角的に検討できれば幸いである。</p>			
<p>講師からのメッセージ</p>			